

令和3年度第3回社会教育委員会議会議録

令和3年度第3回社会教育委員会議会議録							
開催日	令和4年3月14日(月)			開会時間	14時00分		
会 場	市役所6階 603会議室			閉会時間	15時10分		
委員の 出欠状況	原 浩 明	欠	宮 本 康 治	欠	◎久 米 隼	出	
	佐 野 一 機	出	鈴 木 敬一郎	出	泉 素 子	出	
	柳 下 和 弘	出	宇 部 章 子	出	中 川 淳 子	出	
	花 岡 理恵子	出	伊 藤 芳 夫	出			
	村 山 喜三江	欠	○森 田 圭 子	出			
	小見山 映 二	出	山 崎 尚 子	出	◎議長 ○副議長		
傍聴者	なし						
事務局	【教育委員会】 大久保教育長、寄口教育部長 【生涯学習課】 茂呂課長、山本主査、田谷社会教育指導員、西生涯学習推進員 【スポーツ青少年課 】 高橋課長						
議 題	1 専門部会報告 2 教育委員会答申(案)について						

1 開会

2 あいさつ

○大久保教育長

こんにちは。本日は、4月半ばのような暖かい日となり、桜の開花もかなり進むのではないかと思います。皆さまには、大変ご多用のなか、令和3年度第3回社会教育委員会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。

この令和3年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年だったと思っております。いまだに、収束の見通しが立たない状況に変わりはありませんので、今後とも、感染防止対策を講じての生活が続くことと思います。一日も早く、落ち着いた生活を取り戻せることを願っております。

さて、前回の会議では、諮問「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」、専門部会の答申(素案)についてご審議をいただきました。専門部会では、2月16日に第5回を開催され、前回のご意見等を踏まえ答申(案)をまとめられました。本日は各委員から意見をおききし、最終のまとめとして、後ほど、久米議長から答申がなされるとうかがっております。

この間、専門部会の皆さまには、答申(案)の作成にあたり、非常にタイトなスケジュールのなかではありましたが、協議を進めてくださいましたことに心より感謝申し上げます。また、各委員には、和光市の社会教育推進のために、よろしくご意見を賜りますようお願い申し上げます。あいさつといたします。よろしくお願いいたします。

○事務局

本日は、お手元の次第に沿って進めさせていただきますが、会議に先立ちまして、

「本会議の公開」及び会議録について、説明をさせていただきます。

和光市市民参加条例第12条第4項に基づき、審議会等の会議は、原則公開することになっており、本日、2名の方が傍聴されています。

また、会議録は委員名を明記した要点記録となります。恐れ入りますが、発言の際には、お名前をおっしゃってから、ご発言をお願いいたします。

この会議録は、委員の皆様に確認をお願いした後に、市ホームページで公表をしますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

なお、原委員、宮本委員、村山委員からは都合により欠席とのご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

～配付資料の確認～

それでは、報告、議事に移ります。

和光市社会教育委員会会議規程第4条第3項に基づき、ここで会議の進行を久米議長をお願いいたします。

3 議題

○議長

皆さん、改めまして、こんにちは。年度末の大変ご多用のところ、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

和光市においては、明日が中学校の卒業証書授与式、来週は、小学校の卒業証書授与式が行われるということをおききました。和光の子供たちの成長や新たな門出を祝い、そっと見守ることも子供たちにとっては大きなエールになることと思います。私たちが取り組む社会を通じた幅広い教育の観点からも、大切なことだと思っております。

さて、今日の会議では、一年がかりで取り組んでまいりました答申(案)について最終的な確認を行った後に、大久保教育長へお渡しする予定でございます。本日までに、さまざまなご意見をいただきました委員の皆さま、具体的な調査・検討等を担っていただきました専門部員の皆さまに御礼を申し上げますとともに、最後の確認まで、あと少しお力添えいただければと思っております。

それでは、本日の会議は不開示情報の審議を予定しておりませんので、公開とします。

議題に先立ちまして、報告をお願いしたいと思います。前回の会議後、県の研修会がありましたので、事務局から簡単にご報告をいただき、委員会議事として共有しておきたいと思っております。事務局からお願いいたします。

○事務局より

「令和3年度南部地区社会教育関係委員・職員研修会」報告

○議長

的確なご報告をいただき、ありがとうございます。社会教育委員会議事として、さまざまな地域や他市の情報等を知っておくことは大切なことだと思います。今後も、研修

等について順次ご報告をいただいて、委員全体で共有していきたいと思います。

○議長(議事進行)

それでは、本日の議題に移りたいと思います。議題のひとつめ、専門部会の報告に進みます。専門部会会長である森田委員よりご報告をお願いいたします。

(1) 専門部会報告

森田専門部会会長より、第5回専門部会審議について報告

○議長(議事進行)

ご質問等がございませんので、議題(2)に移ります。

ただいま、専門部会 森田会長よりご報告をいただきましたが、本日は、答申(案)につきまして、最終的なご意見・ご感想等をいただいた後、一旦、休憩をとらせていただきます、教育長に答申いたします。

(2) 専門部会の答申(案)について

○議長

答申(案)につきましては、細かな内容について審議することは難しいと思われますが、改めて、答申としてのご承認を含めてご意見をいただきたいと思います。

すでに前回会議までのご意見、また、その後の専門部会での検討等にて、細かく修正等が入っておりますので、全体を見て、ご感想等あればお願いいたします。

まず、専門部会の部員でもある、佐野委員、柳下委員におうかがいいたします。その後、順にご発言をお願いします。

○佐野委員

専門部員の皆さまとは、月に一度顔を合わせて、勉強させていただきました。ありがとうございました。

学校教育、社会教育とそれぞれの教育の場がありますが、特に、社会教育の分野では多様な主体が活躍しています。個別の活動をつなぎ、リンクをさせていく。それぞれが情報を共有して、連携・協働していくことが子供の成長にとって大切だということを改めて感じました。

このためには、持続可能な組織、継続的な仕組みづくりが重要であり、非常にコンパクトに答申(案)にまとめることができたと思っています。

一方で、答申(案)は、あくまで今後の方向性を示すものであり、組織の設置を行い、実際に活動をとおして連携・協働を進めていくことをしなければ、答申(案)の内容を実現することは難しいと思います。

本当にスタートしたばかりだなということを改めて感じる次第です。本当にありがとうございました。

○柳下委員

専門部員の皆さま、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。私も、専門部

員の一人として携わらせていただきましたが、たいへん学びの多い時間を過ごさせていただきました。社会教育について、私自身がより広い視野から捉え直し、深く考えることができたすばらしい場でありました。

佐野委員のお話にもありましたが、これからは、答申(案)をどのように具体的に実現させていくかという点が、重要になってきます。これからの取組が大切になることでしょう。答申(案)の内容を踏まえて、わずかずつでも形となって走り出していくことが重要です。ありがとうございました。

○花岡委員

専門部会の皆さま、いろいろありがとうございました。お疲れさまでした。答申(案)に目をとりましたが、学校・家庭・地域の連携・協働が本当に大切だということがわかりました。これをお二人が話されたように、実行していくために少しでも協力していきたいと思います。どうもありがとうございました。

○小見山委員

答申(案)を読み、内容を把握するために、かなりの時間を要しました。協力する立場に自分を置き、具体的な活動のイメージを考えてみました。自分が協力・協働できる範囲はそれほど広くはないので、うまく参加する、協力する方法を考えていきたいと思います。コミュニティ・スクールの推進に力を入れていくこともわかりましたが、協力するにしてもなかなか時間がとれない状況もあります。なんとか時間もやりくりしながら、できる限り協力をしたいと思っています。

○議長

この答申(案)に提言された内容を、いきなり全部進めていくということは難しいことと思われまふ。じっくりと時間をかけて、一人ひとりが、できる範囲で取り組んでいくことが大切であり、この場に、皆さんに委員としてお集まりいただいている意味でもあると思います。

ひとりの力、一つの組織だけではできないことも、和光市全体の力を合わせて進めていくという方向性が示されております。一人ひとりの負担を減らしながら、まちづくりを楽しんでいくところでもあると思いますので、ぜひ、お力添えいただけますようお願いいたします。

○鈴木委員

答申(案)は、とてもよくできています。読み込むことは大変でしたが、社会教育委員として求められる役割や地域での連携・協働の必要性等がよく理解できました。

しかし、私のできる範囲や皆さんのできる範囲を重ね合わせても実現には相当な時間がかかるように思います。提言内容にもあるとおり、誰かが中心となり、発信をして理解を深めていただく方策や持続可能な組織や継続的な仕組みづくりを進めていくことが重要です。

答申(案)を踏まえて、社会教育委員会会議としてもより具体的な方策を提言することが重要です。会議のなかでブラッシュアップすることによって、提言の具現化、会議の

活性化を図ることができます。皆さんで審議しながら、和光市の社会教育推進に力を尽くしたいと思っています。

○議長

お話のとおり、今後、社会教育委員会議として、答申(案)の具現化に努めることが重要です。まさしく、これから社会教育委員会議として取り組む内容といえるでしょう。ぜひ皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

○宇部委員

答申(案)の作成、お疲れ様でした。改めて、人とのつながりの大切さを感じ、この社会教育委員会議でも、皆さんとのつながりを深めていきたいと思っています。

コミュニティ・スクールの関係では、学校運営協議会の運営に課題がある学校のお話をきくことがありますので、お役に立てるよう取り組んでいきたいと思います。

和光市における社会教育の役割のひとつに『『攻め』の社会教育』という言葉があります。まさしく「攻め」の姿勢を持つ方が一人でも多くいないと何事も進んでいかないと思います。私も「攻め」の姿勢を大切に、勉強を続け、活動に活かしていこうと考えています。ありがとうございました。

○伊藤委員

専門部員の皆さん、大変なご苦勞をされました。本当にありがとうございます。答申(案)は、社会教育全体を俯瞰し、提言されています。しかし、そのすべてに取り組むためには、時間も必要だと思います。微力ではありますが、自分のできる範囲から皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思います。

「おわりに」の部分には、「最新の情報を的確に把握する」ということが記されています。移り変わりの激しい時代ですので、社会情勢の変化に弾力的に対応し、事業等に反映させていくため、社会教育委員としても心がけていきたいと思います。ありがとうございました。

○山崎委員

とてもよくまとまった、わかりやすい答申(案)になっていると思います。本当にご苦勞様でした。現状を把握するために、市民アンケート結果や資料を活用し、課題を共有し、解決策を見出すという姿勢が全体を貫いていると思いました。

コロナ禍では、新たな問題が表出し、事業実施も難しい状況ですが、皆さんの知恵を集め、工夫した対応を見つけ出していけるのではないかと感じました。

「令和3年度南部地区社会教育関係委員・職員研修会」では、埼玉県他市の担当の方々の意見交換、質疑応答の時間がありました。やはり、どの市も共通したご苦勞や解決すべき課題が取り上げられていましたが、すばらしい取組も紹介されました。参考になるものもたくさんありました。困ったときは、和光市だけで考えるのではなく、埼玉県内の知恵を集めるという方策も必要だと思います。専門部会の皆さま、ありがとうございました。

○泉委員

答申(案)を拝見して、子供たちを支えたり、応援したりする和光市の取組についてよく理解できました。社会教育に携わる組織・団体等の現状を把握した上で、改善のための方向性を提言することができましたが、関係する方々にこの内容を十分理解していただくことが重要ですし、意識も変えていっていただく必要があります。簡単には進んでいかないと思いますが、これこそが重要な視点だと思います。

少しずつでも前に進むことが必要ですので、私もできることに協力しながら、よい方向に進められるよう努めていきたいと思っています。ありがとうございました。

○議長(議事進行)

ありがとうございました。最後に、中川委員と森田委員は専門委員の部会でもお力添えいただきました。中川委員からお願いできますでしょうか。

○中川委員

専門部会で勉強させていただきました。感謝申し上げます。答申(案)がまとまりましたが、社会教育の充実に資する提言が具体的に示されており、貴重なコンテンツと言えるのではないのでしょうか。

コミュニティ・スクールの在り方について提言できたことは、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」の推進に極めて意味のあることと思います。地域学校協働本部では、中心となるCSディレクターや地域コーディネーターが連携して取り組むことが重要です。活動に参加する人の声を拾い上げていく組織の姿勢が必要だと思います。

大人には、子供たちを導いていくという役割があります。子供たちのお手本になる、子ども達の力添えをしていくという姿勢を大切にしながら、社会教育に取り組む私たちの経験値を上げていきたいと思っています。

答申(案)の実現には、時間がかかることもあるでしょう。これからも、勉強していきたいと思っています。

○森田委員

これまで、皆さんには貴重なご意見をたくさんいただき、感謝いたします。本日の皆さまのご発言のなかにも、ご自身のこととして真剣にお考えいただいていることがうかがえる内容が多々ありました。大変嬉しく思っています。

答申(案)には、社会教育委員会議の役割も明確に示されています。今後、この会議の場で、いろいろな報告を受け、社会教育推進について審議できることを楽しみにしています。

令和4年度に新設される地域学校協働本部等についても、ハードルが高く、うまく進められるのだろうかという心配もありますが、担当の方がお力を発揮するためには、地域のなかにもどのぐらい仕組みを理解し、応援できる人がいるかが問われてくるのだと思います。

本会議では、提言の内容がどのように具現化されていくのか見届けていく、支援していくことが大事ですので、次年度、皆さんと一緒に見届けていきたいと思っています。

諮問をいただき、答申をまとめる機会をいただいたことを感謝しております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長

皆さま、ありがとうございました。ご発言のなかに、答申(案)の内容を、どのように事業に反映させていくかという視点や今後の取組への展望も加えていただきました。どうもありがとうございました。

答申(案)につきまして、案をとりまして答申としてご承認いただいてよろしいでしょうか。

～拍手にて承認～

○議長

それでは、教育長への答申に移りたいと思いますが、事務局の準備もございしますので、ここで、10分程度、休憩いたします。2時50分より、再開いたします。

○議長(議事進行)

定刻となりましたので、会議を再開いたします。事務局の準備も整いましたので、和光市社会教育委員会議長の私から、大久保教育長に答申いたします。

～久米議長が答申書を読み上げ、答申書と「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」答申冊子を手交する。～

○議長

ただいま、教育長に答申いたしました。昨年7月28日に諮問をいただきましたが、社会教育委員の皆さまのお知恵を集めていただきながら、答申をまとめることができましたことを大変嬉しく思っております。教育長よりひとこといただけますでしょうか。

○大久保教育長

昨年7月28日に諮問をさせていただきましたが、非常にタイトなスケジュールのなかで、専門部会を中心に答申(案)をとりまとめいただき、皆さんのお力ですばらしい答申にまとめていただきました。ありがとうございました。

令和元年11月に教育長に再任されましたとき、和光の社会教育はこれでいいのだろうかという疑問を持ちました。大きな課題の一つは、コミュニティ・スクールの推進状況でした。

そこで、社会教育委員の皆様をお願いをして、それぞれの分野の課題をまとめていただき、「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」具体的にご提言をいただくことが重要であると考えました。

答申の内容を拝見してみますと、本当にすばらしいものになっております。和光市の社会教育がよい方向に進んでいくという道筋が見えてまいりました。まさしく、羅針

盤としての位置づけと考えております。

さきほど、各委員よりご意見がございましたように、答申の内容をそれぞれの分野でどう具現化していくかということが、これからの大きな課題になると考えております。

現在、生涯学習課の職員のなかには、社会教育主事講習、社会教育士の資格取得講習を受講しているものがあります。これらの職員を専門職として配置することにより、皆さまとともに活動していく、大きな役割を果たすものと考えております。

更に、次年度からは、市内3公民館に地域学校協働活動推進本部を設け、学校と地域の連携を担うCS チーフディレクターの配置により、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」を進めてまいります。

社会教育委員の皆さまには、これからの和光の社会教育の在り様に常に目を向けていただき、課題提起をしていただきながら、審議を進め、更にスキルアップしていくような「学びと活動の好循環」を生み出していいただければありがたいと考えております。本当にありがとうございました。

○議長

皆さま、お疲れさまでした。ありがとうございました。私も社会教育委員として、皆さまと一緒に目指す方向を導き出すことができたことが、いちばん大きな成果だと思っております。和光の社会教育を充実させるための共通認識がまとめられた訳ですから、これからは、それぞれの方向から、それぞれのやり方で目指すべき姿に向かって活動していくことが可能になりました。社会教育の充実のため、一緒に取り組んでいきたいと思っております。

「おわりに」の部分には、今回の答申のなかで、4つの視点と3つのポイントを踏まえて提言することができたこと、また、和光市の社会教育を更に充実させるために、「これまで以上に最新の情報を的確に把握し、社会情勢の変化に弾力的に対応しつつ、事業に反映させていくことが望まれる。」と記しております。さきほど、伊藤委員からもご意見をいただきましたが、事務局には、今後、具体的な対応をお願いいたします。

また、森田専門部会会長をはじめとした専門部員の皆さまには、短い期間にもかかわらず答申(素案)、答申(案)をまとめていただき、ありがとうございました。限られた回数ではございましたが、社会教育委員の皆さまにも会議のなかで貴重なご意見をお寄せいただきましたことに改めて、感謝申し上げます。ありがとうございました。

○議長(議事進行)

それでは、次第の5、その他に移ります。皆さまから何かございましたら、ご発言をお願いします。

○議長(議事進行)

よろしいでしょうか。

本日は、答申を教育長にお渡しすることができました。新たなスタート地点に皆さまと一緒に立つことができたと考えております。ありがとうございました。

季節柄、体調も崩しやすいと思いますが、どうぞ、お気をつけてお過ごしください。

では、これで議長の任を解かせていただきます。本日も皆さまにはご協力いただきまして、ありがとうございました。

○事務局

本日は、長時間にわたり、ご審議いただき、誠にありがとうございました。立派な答申を頂戴いたしました。ありがとうございます。答申内容につきましては、今後、十分に検討させていただき、新年度事業等に反映させてまいりたいと考えております。

本日、教育長がお預かりいたしました答申は、後日、写しを送付いたします。また、会議録の調製をお願いすることとなりますので、ご協力をお願いいたします。

次回の会議は、新年度となります。例年、6月下旬に実施しておりますが、具体的な期日は、改めて、ご案内いたします。

本日は、お疲れ様でございました。ありがとうございました。お気を付けておかえりいただきたいと思います。ありがとうございました。